



晶文社
5月の新刊案内

【文芸】【民俗学】
ご担当者様

FAX03-3518-4944

配本申込み〆切4月21日

口の端に上る「裏側の世界」を元 AV 女優作家が巡り歩く、オカルト・ルポ



「いや、実はこんな話があってね……」

ネイルサロンで、暑い夏の坂の途中で、
または深夜の電話口から、人々は不意に
怪異を語りだす。
奇譚に埋め込まれ、漂っている記憶とは。

〈時間〉〈場所〉〈ひと〉を重ね合わせる
「透視図法」により、そこに眠る
深層／心象／真相を掘り起こす。

『山怪』(山と溪谷社)もブームになるほど、老若男女問わず
受け入れられる奇譚。なぜ人は伝承・神話に魅せられるのか？
異色の女流作家が各都市に眠る奇譚を綴ります。(営業部)



川奈まり子 著

彼岸奇譚

ひがんきたん

46 並製カバー装 総頁 304 頁
予価：本体 1600 円＋税
ISBN978-4-7949-6963-7 C0095
【カバー写真】高島空太
【カバーデザイン】albieo

「実話怪談における数少ない本物の原石だ」

怪談専門雑誌
「幽」編集顧問
東雅夫氏 (アンソロジースト)
文芸評論家 推薦!

目次

- 1 はじまりの遠野紀行 2 廃墟半島にて 3 彼岸トンネル 4 熊取七人七日目七曲がり
5 鍵付きの時代筆筒 6 いちまさん 7 人形心中 8 堀田坂今昔 9 神隠し 10 犬の首
11 禁をやぶると 12 まれびとの顔 13 海霊の人魚 14 蛭夫 15 生霊返し 16 鬼婆の子守唄

【著者について】川奈まり子 (かわな・まりこ)

東京都生まれ。女子美術短期大学卒業後、出版社デザイン室勤務、フリーライターを経て 31 歳で AV 女優デビュー。2004 年に AV を引退。山村正夫記念小説講座で小説を学び、2011 年、長編官能小説『義母の艶香』(双葉文庫)で小説家デビュー。以降、官能小説、ホラー小説、怪談実話のジャンルで活躍しており、著書多数。怪談の著書では『赤い地獄』『実話怪談 出没地帯』、共著に『嫩 怪談実話二人衆』『穢死』など。『しらべえ』で怪談実話を連載中 (http://sirabee.com/)。日本推理作家協会会員。

晶文社 新刊委託注文書	取次・貴店印	彼岸奇譚	申込部数
	ご担当 様		冊
		川奈まり子 著	
		【文芸・民俗学】四六判並製・304ページ 予価：本体1600円＋税 ISBN978-4-7949-6963-7 C0095 5月9日配本予定	

晶文社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11 TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp

※常時入帖しますので、長期間の陳列をお願い致します。【晶文社営業部：川上・片桐・福士・後藤・松崎・長田】